

【樹木の部屋】

シダレヤナギ（ヤナギ科ヤナギ属 *Salix babylonica*）

和名：シダレヤナギ（枝垂柳）

別名：イトヤナギ（糸柳）、シダリヤナギ、オオシダレヤナギ、オオシダレ

英名：Weeping Willow

キントラノオ目 落葉高木

原産地：中国

花言葉：従順、自由

花色：黄



← 写真-1 シダレヤナギ

撮影日：2019年05月04日

撮影場所：彦根城(彦根市)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 シダレヤナギの小枝

撮影日：2019年05月04日

撮影場所：彦根城(彦根市)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 シダレヤナギの葉

撮影日：2019年05月04日

撮影場所：彦根城(彦根市)にて

撮影者：M さん

彦根にある玄宮園を訪れたその帰り道、彦根城のお濠端で見かけました。

ヤナギは、世界に約350種あり、日本では、ヤナギと言えば一般にシダレヤナギを指すことが多く、日本へは、奈良時代に渡来したそうです。

葉は互生し、葉身は披針形から線状披針形で、縁には細かい鋸歯があります。表面は濃緑色、裏面は粉白色です。

雌雄異株で花期は3～4月です。暗黄緑色で葉に先だって尾状花序をつけます。日本には雌の木がないとされているそうです。樹皮は灰褐色で縦に割れ、裸材に隆起条はなく、新枝は褐緑色で滑らかです。果実は蒴果で、種子は小さく柳絮(りゅうじょ)と呼ばれ、綿毛を持っており風に乗って散布されます。

日本では水辺に生育する種が多く、山地に生育するものも少なくないそうです。川辺や御濠沿いなど水辺に植えられることが多く、乾燥地でも耐えるため、街路樹に使われることもあり、環境適応力は高い樹木です。

長く垂れ下がる枝は長寿の象徴とされ、元旦には柳の枝で作った箸を使って長寿を祈念する風習があったそうです。